

# 令和6年度教育課程研究集会 小・中 特別活動

特別活動の指導における  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け  
た授業改善について

令和6年8月  
奈良県教育委員会事務局  
義務教育課 小中生徒指導係  
指導主事 山本博樹

# 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して見につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の(人間としての)生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

(※( )は中学校)

【学びに向かう力、人間性等】

特別活動で育成を目指す**資質・能力**

資質・能力を育成するための**学習過程**の在り方

の**三つの視点**

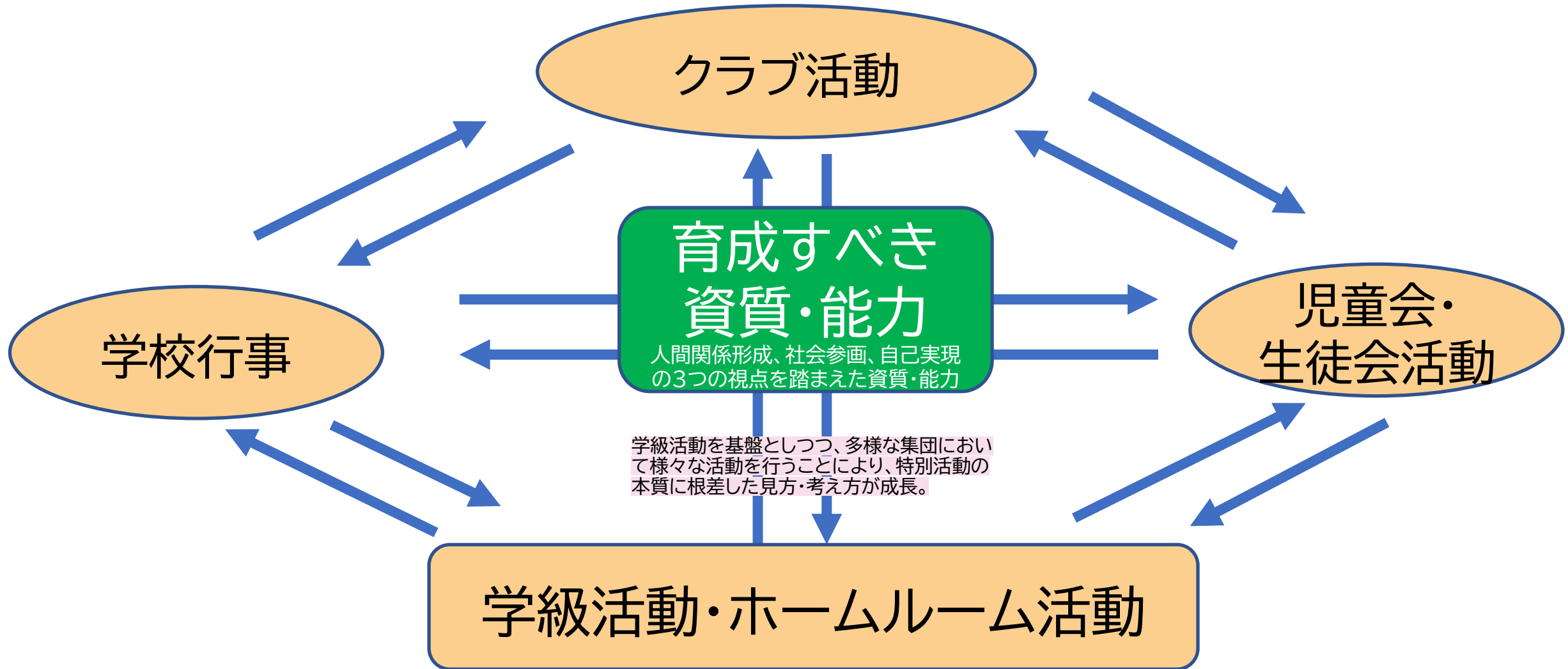


人間関係形成

社会参画

自己実現

# 特別活動における各活動の整理



【特別活動の基盤】

・学級・学校生活における基本的な集団における活動。

・「学級や学校づくり」、「日常生活や学校への適応及び健康安全」について学習する中で、基盤となる資質・能力を育成。

## 特別活動で育成を目指す資質・能力

知識や技能を教授するのではなく、各教科等において学習したことも含めて、特別活動の実践活動や体験活動を通して体得させていくようにすることが必要である。

## 児童生徒による自発的、自治的な活動の充実

よりよい学級や学校の生活を築くための問題を発見したり、  
集団としての意見をまとめたりするなどの話し合い活動や、話し  
合いで決まったことを友達と協力して実践したりする活動



多様な集団活動を通して、互いのよさを見付け合い、違  
いを尊重し合い、仲よくしたり、信頼し合ったりする関係を  
築く

# 児童生徒による自発的、自治的な活動の充実

よりよい学級や学校の生活を築くための問題を発見したり、  
集団としての意見をまとめたりするなどの話し合い活動や、話し  
合いで決まったことを友達と協力して実践したりする活動



多様な集団活動を通して、互いのよさを見付け合い、違  
いを尊重し合い、仲よくしたり、信頼し合ったりする関係を  
築く

一朝一夕には  
できない

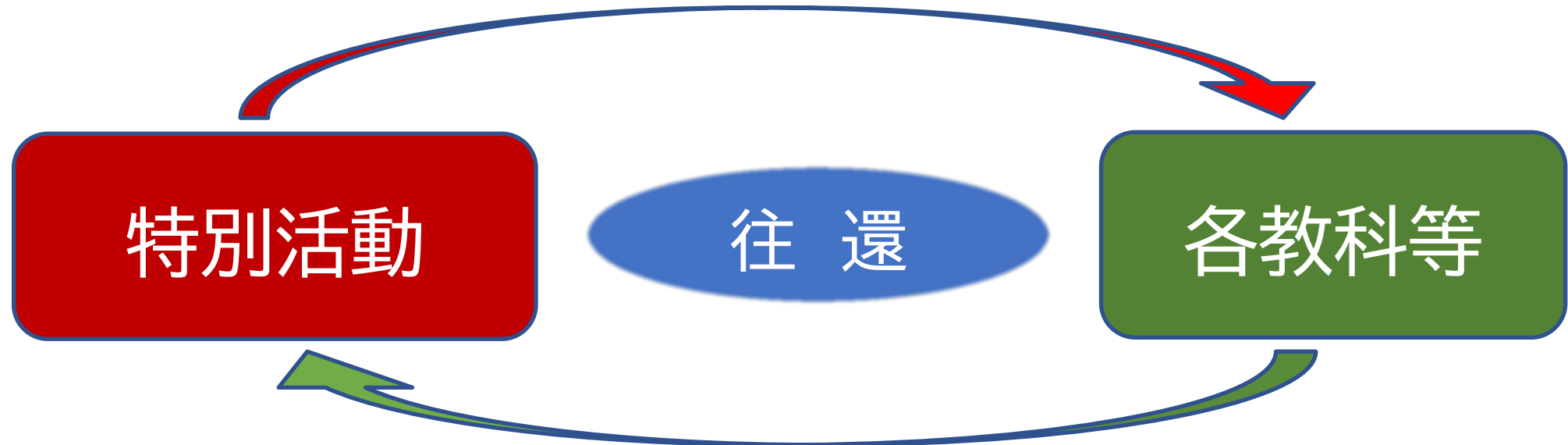
学校としての  
積み重ね



# 特別活動と各教科等の往還について

【特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくり】

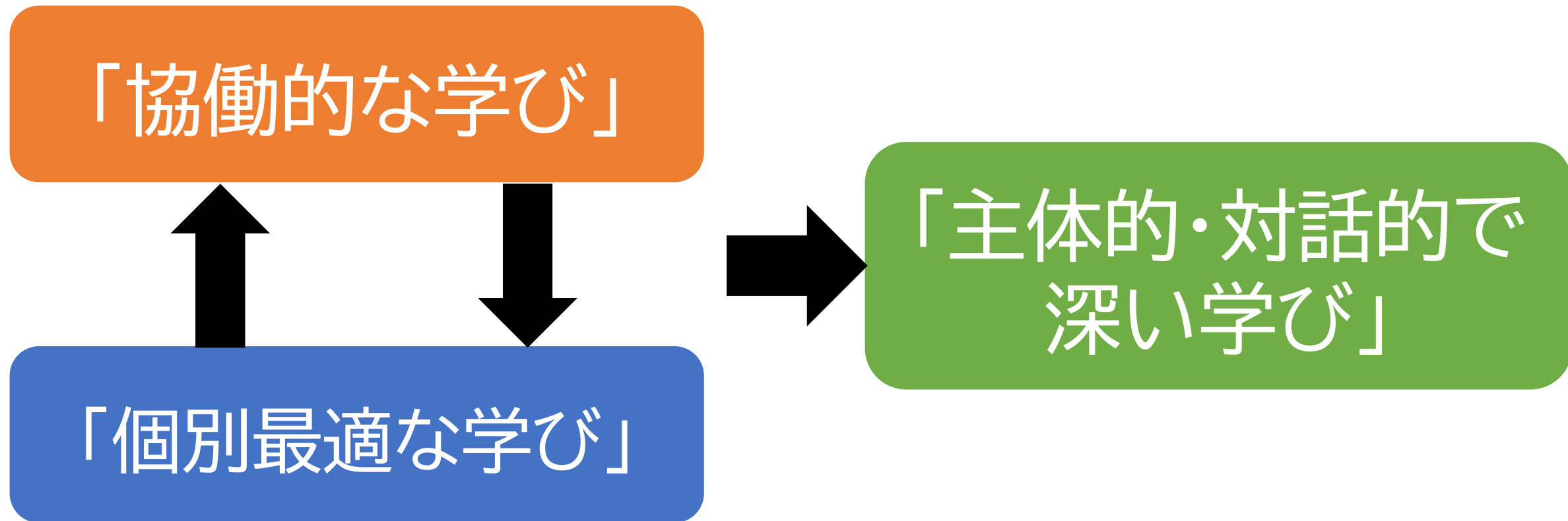
- ・学校、学級づくり(学校文化、学校文化の形成)
- ・人間関係形成能力の育成(コミュニケーションの合意形成など)
- ・社会参画や自己実現のために必要な力



【各教科等の学びを生かした特別活動の実践】

- ・各教科等で身に付けた資質・能力を特別活動の各活動の中で生かす
- ・自己の生活や進路、キャリアに学校での学びをどう生かすのかという振り返りを行う

# 授業改善の視点



「指導の個別化」 「学習の個性化」

教師視点から整理

「個に応じた指導」

学習者視点から整理

「個別最適な学び」

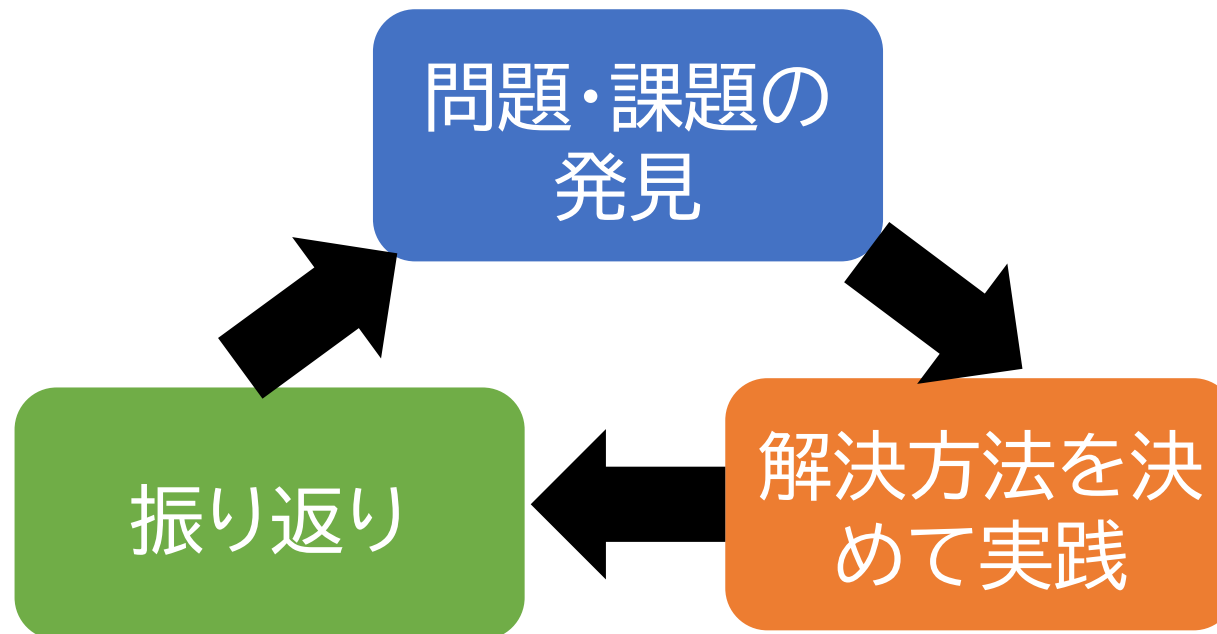
## 「協働的な学び」

探究的な学習や体験活動などを通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する

# 「主体的な学び」の実現

特別活動における

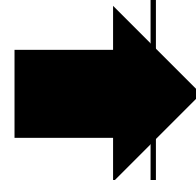
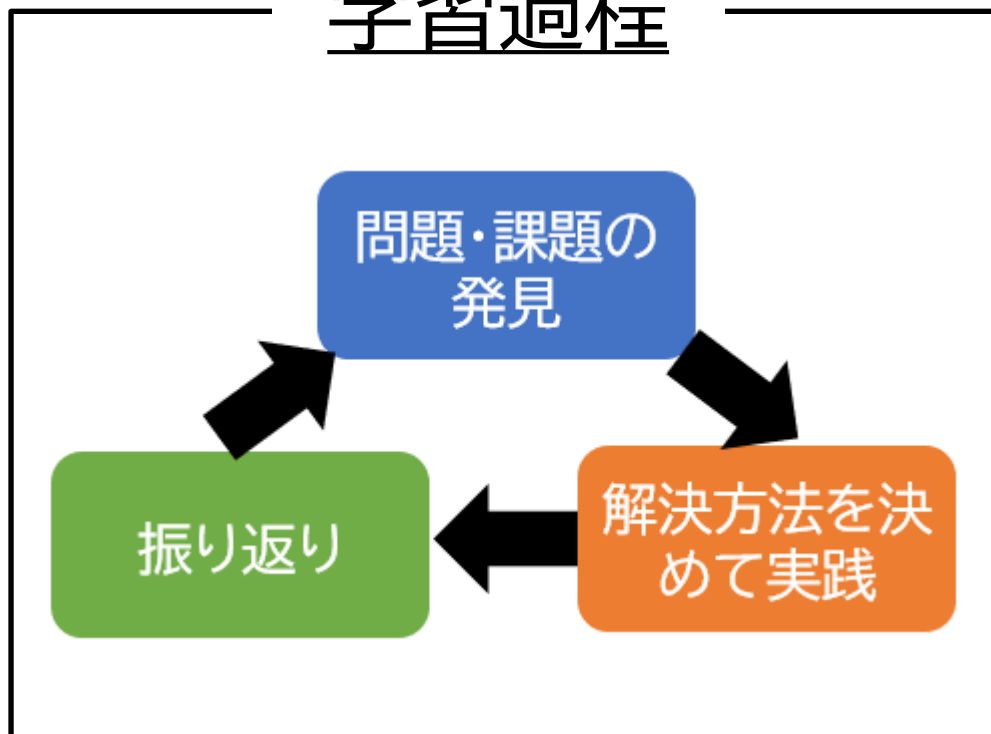
学級や学校における集団活動を通して、生活上の諸課題を見いだし、解決できるようにすることが大切。



# 「主体的な学び」の実現

特別活動における

## 学習過程



- 集団や自己の新たな**課題の発見**や**目標の設定**
- 生活をさらによりよくしようという次の活動への**動機付け**

# 「対話的な学び」の実現

学級や学校における集団や自己の生活上の課題を見だし、  
解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする中  
で、話し合いを通して他者の様々な意見に触れ、自分の考えを  
広げたり、課題について多面的・多角的に考えたりすることが  
重要

# 「対話的な学び」の実現

特別活動における

- ・多様な他者と対話しながら協働する
- ・地域の人との交流を通して自分の考えを広げる
- ・自分のよさやがんばりに気づき自己肯定感を高める
- ・自然体験活動を通して自然と向き合い、学校生活では得られない体験から新たな気づきを得る
- ・キャリア形成に関する自分自身の意思決定の過程において、他者や教師との対話を通して自己の考えを発展させる



# 「対話的な学び」の実現

特別活動における

- ・多様な他者と対話しながら協働する
- ・地域の人との交流を通して自分の考えを広げる
- ・自分のよさやが、を高める

## 様々な関わり

- ・自然に得られない
- ・キャリア形成に関する自分自身の意思決定の過程において、他者や教師との対話を通して自己の考えを発展させる

# 「対話的な学び」の実現

特別活動における

- ・多様な他者と対話しながら協働する
- ・地域の人との交流を通して自分の考えを広げる
- ・自分のよさやががががががを高める

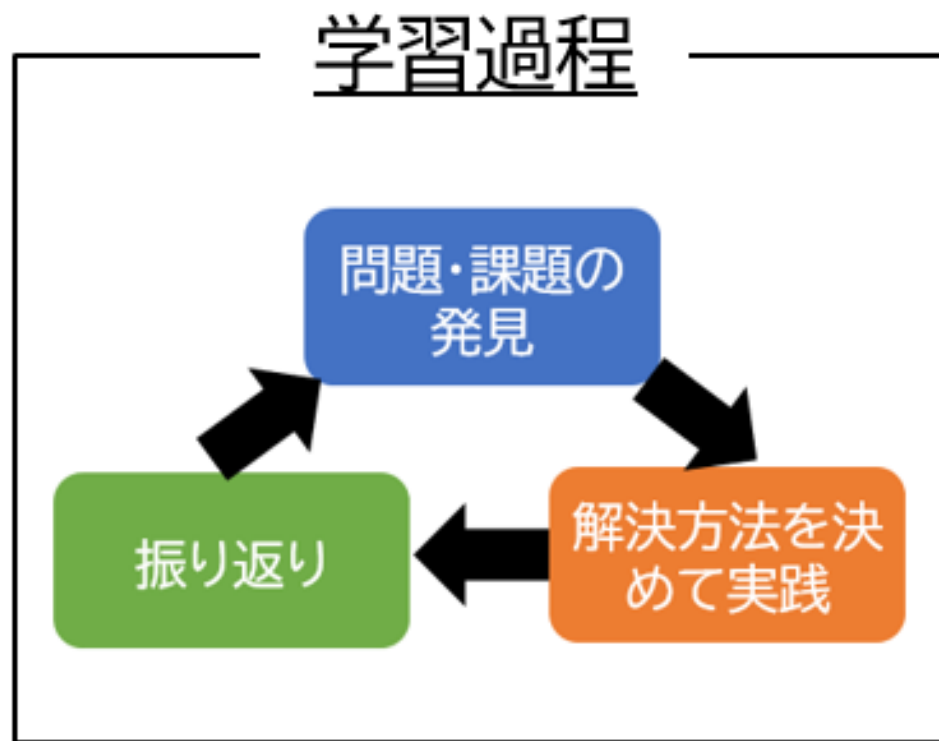
様々な関わり

- ・自然に得られない知識
- ・キャリア形成に関する自分自身の意思決定の過程において、他者や教師との対話を通して自己の考えを発展させる

資質・能力の育成

# 「深い学び」の実現

特別活動における



活用

各教科で学んだ  
知識や技能

特別活動における

# 「深い学び」の実現

それぞれの学習過程において、どのような資質・能力を育もうとするのかを明確にした上で、意図的、計画的に指導に当たることが「深い学び」の実現につながる。

